

特殊詐欺被害等の情報（件数・被害額は「速報値」）

特殊詐欺被害等の認知状況（令和5年10月31日現在）

①件 数	33件	前年同期比+7件
②被害額	3,492万円	前年同期比-2,808万円
③サギ電話	396件	前年同期比+147件

令和5年10月中に認知した特殊詐欺の手口

手口分類	手口の内容
オレオレ詐欺 還付金詐欺	<p>【キャッシュカード詐欺】</p> <p>自宅の固定電話に清水警察署の署員を騙り「あなたの口座を止める必要がある。今から署員が自宅に伺うので、キャッシュカードの封印措置をしてもらいたい。」と電話があった。</p> <p>その後、自宅を訪問した犯人に、「キャッシュカードを封筒に入れて印を押して。」と言われ、言われたとおり、封印したところ、キャッシュカードを盗まれてしまったもの。</p>

10月中の街頭犯罪・特殊詐欺にみる傾向と防犯ポイント

① 街頭犯罪

【自転車盗、万引きの多発について】

10月中も自転車盗が多発し、10件発生しています。

本年だけで自転車盗は135件発生しており、前年の同時期と比べて、プラス20件と高い水準で発生し続けています。10月中に発生した自転車盗は全て施錠をしていない自転車が被害に遭っており、施錠さえしていれば被害に遭う確率は大幅に低くなる。

さらに、10月中に発生した車上ねらい2件の被害についても、施錠していない車が被害に遭っています。自転車や車の使用後は絶対に鍵をかけるよう、又自転車については、「鍵を2つかけるツーロック」について広報願います。10月中は万引きが18件発生しており、前年の同時期と比べてプラス15件増加と現在増加傾向にあります。万引きすれば誰かが見ている、絶対に捕まる、「万引きは絶対にしない。」ことを広報願います。

② 特殊詐欺

【被害状況について】

10月中は1件の特殊詐欺被害の認知をしました。

10月中に認知した被害は、清水警察署の署員を騙る者から、「あなたのキャッシュカードを止める。今からキャッシュカードを封筒に入れて封印する作業をしに伺う。」と言われ、訪間に来た女に、「キャッシュカードを封筒に入れて、印を押して下さい。」と言われ、言われたとおり封印し、その後キャッシュカードを盗まれてしまったものです。

電話で、「キャッシュカードを確認する、預かる、封印する」という言葉が出ればそれは詐欺です。また、「キャッシュカードを他人に渡さない、暗証番号を絶対に教えない。」ことを広報願います。

【電話機対策の推進について】

特殊詐欺の被害防止には、「犯人からの電話を受けないこと」が重要です。詐欺電話を架ける架け子は、「留守番電話設定」や「防犯機能付電話」だった場合は、すぐに電話を切ることが多いです。

NTTで、70歳以上の方がいる一般家庭世帯の回線を対象に、ナンバー・ディスフレイ及びナンバー・リクエストを無償化する取り組みを実施していることを教示し、利用を促すように広報願います。